

# 中小企業景況調査報告書

(大分県商工会地域)

---

平成29年10月～12月実績

---

平成30年1月～3月予測

---

平成29年12月

大分県商工会連合会

# I. 調査要領

## 1 対象期間

平成29年10～12月期（調査時点：平成29年12月1日）

## 2 調査対象

(1) 対象地区 10商工会地区

(中津市しもげ、宇佐両院、西国東、国東市、杵築市、日田地区、由布市、九州アルプス、豊後大野市、佐伯市あまべ)

(2) 対象企業数 148企業

製造業28企業、建設業24企業、小売業39企業 サービス業57企業

(3) 企業規模 ア 製造業、建設業では従業員300人以下または資本金3億円以下。

ただし、おおむね80%は従業員20人以下とする。

イ 小売業では従業員50人以下または資本金5千万円以下。

ただし、80%は従業員5人以下とする。

ウ サービス業では従業員100人以下または資本金5千万円以下。

ただし、80%は従業員5人以下とする。

## 3 回収状況 148企業

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率(%)
製造業	28	(18.9)	28	(18.9)	100.0
建設業	24	(16.2)	24	(16.2)	100.0
小売業	39	(26.4)	39	(26.4)	100.0
サービス業	57	(38.5)	57	(38.5)	100.0
合計	148	(100.0)	148	(100.0)	100.0

※（ ）内は構成比（%）

## 4 調査方法

(1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2) 調査対象地区の選定は、商工会地区市町村人口規模別実態を勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

## 5 その他

DI (Diffusion Index) とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての「増加（上昇・好転）」したとする企業割合から「減少（低下・悪化）」したとする企業割合を引いた値を示すものである。

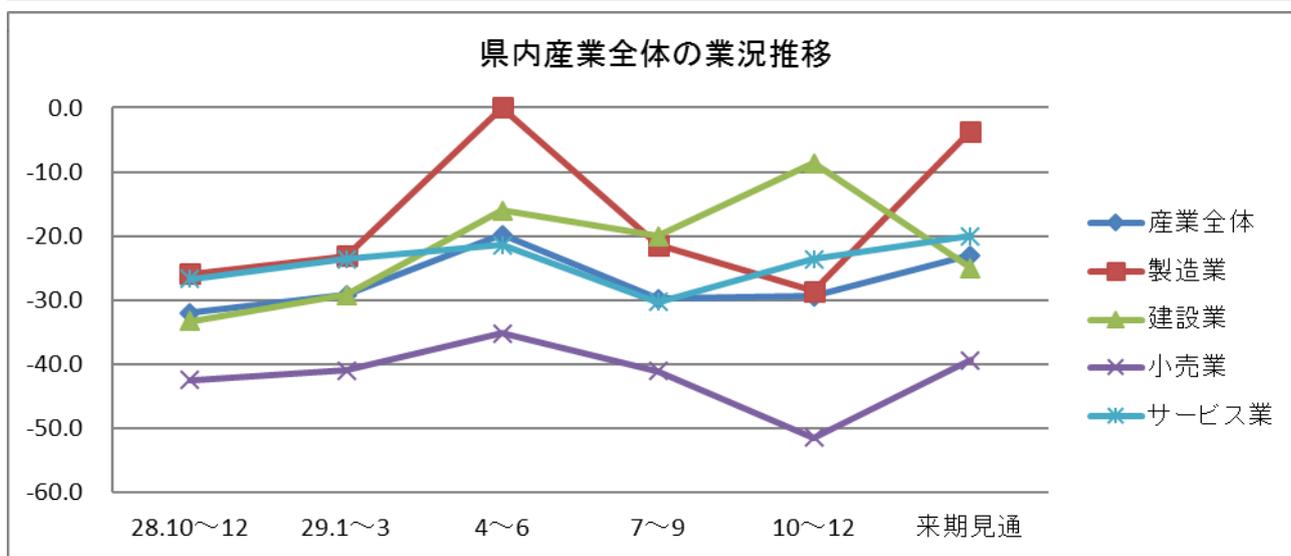
## II. 県内産業全体の業況概況

県内商工会地域における今期（平成29年10月～12月期）の中小企業景況調査の結果をみると、産業全体における業況については、景気動向指数（DI値）は△29.4ポイントであり、前期比0.4ポイントの改善となった。

業種別にみると、製造業（前回△21.4→今回△28.6）が7.2ポイント悪化、建設業（前回△20.0→今回△8.7）が11.3ポイント改善、小売業（前回△41.1→△51.4）が10.3ポイント悪化、サービス業（前回△30.3→△23.6）が6.7ポイント改善した。今回、製造業と小売業は悪化となったが、建設業とサービス業は改善した。

来期（平成30年1月～3月期）の産業全体の見通しでは、今期よりも6.4ポイント改善の△23.0ポイントとなり、改善の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業は悪化の見通しとなっているものの製造業、小売業、サービス業は改善の見通しである。



### 業界景況天気図（商工会地域）

	H28.10~12		H29.1~3		H29.4~6		H29.7~9		H29.10~12		見通し H30.1~3	
産業全体		△32.0		△29.2		△19.8		△29.8		△29.4		△23.0
製造業		△25.9		△23.1		0.0		△21.4		△28.6		△3.7
建設業		△33.3		△29.2		△16.0		△20.0		△8.7		△25.0
小売業		△42.5		△41.0		△35.2		△41.1		△51.4		△39.4
サービス業		△26.7		△23.6		△21.4		△30.3		△23.6		△20.0

50.1~100  
快晴

20.1~50.0  
晴れ

0.1~20.0  
薄くもり

△20.0~0.0  
くもり

△50.0~△20.1  
くもり・雨

△100~△50.1  
雨

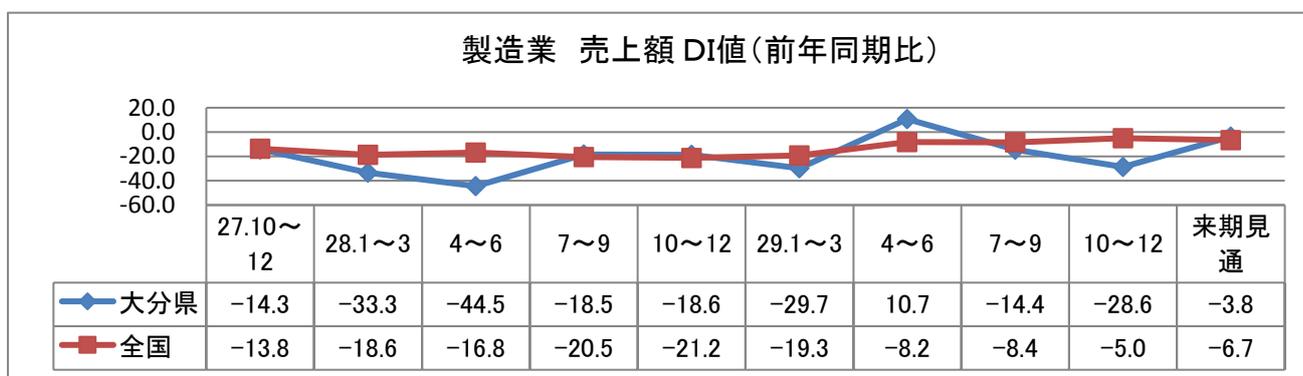
### Ⅲ. 業種別動向

#### 1 製造業の動向

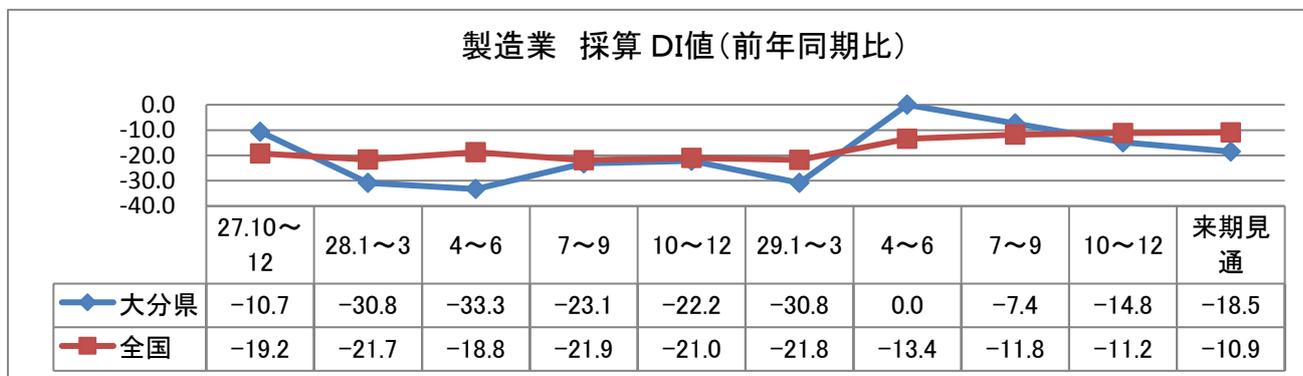
県内の製造業における「売上額」については、前回調査に比べ14.2ポイント悪化。「採算」については、7.4ポイント悪化、「資金繰り」については、3.0ポイントの悪化となった。全国平均と比べると「採算」、「売上額」「資金繰り」全ての項目で、下回っている。来期の見通しは、「採算」について悪化の見込みである一方で、「売上額」「資金繰り」は、改善の見通しである。

#### (1) 全国と比較した主要項目の推移

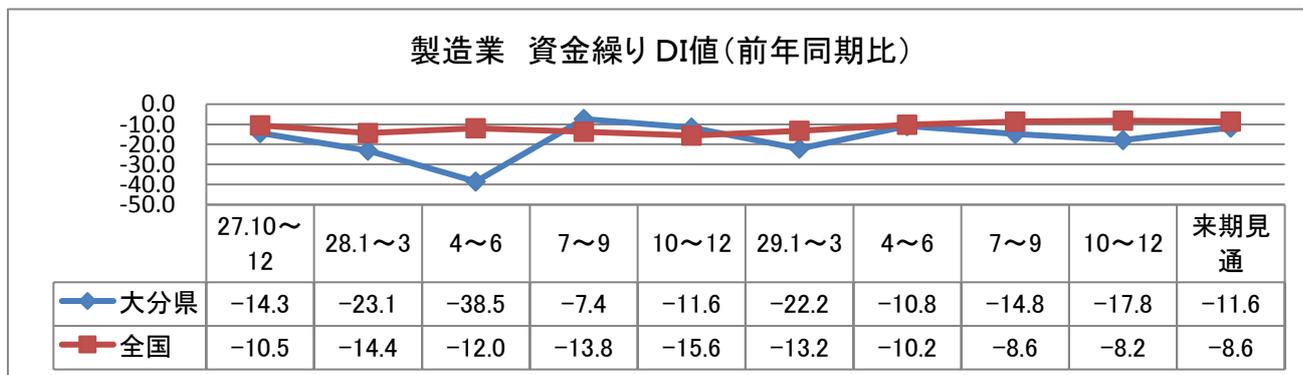
##### ①売上（加工）額



##### ②採算（経常利益）



##### ③資金繰り

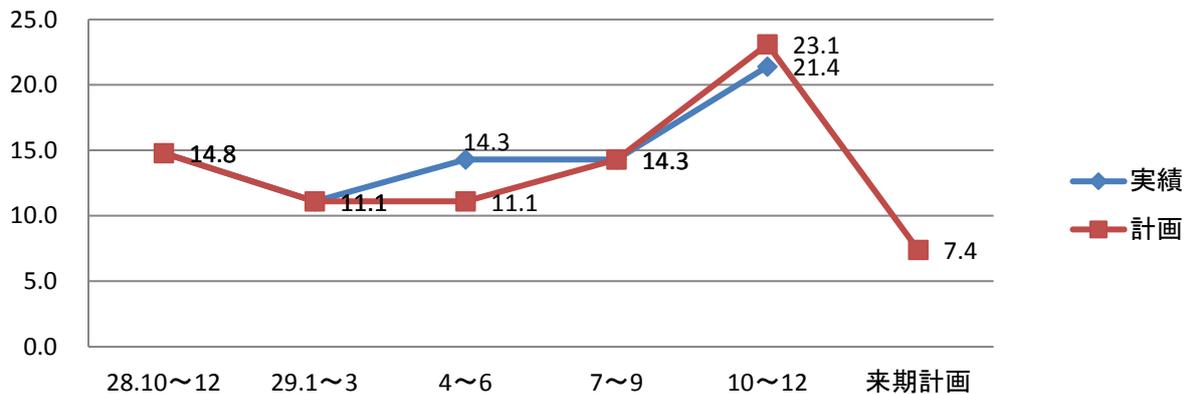


## (2) 設備投資（新規設備投資の状況）

今期、設備投資を実施した企業は6社（21.4%）であった。前期（平成29年7月～9月期）の実施企業が4社（14.3%）であったため、2社増加の状況。来期は、2社（7.4%）が設備投資を計画しており、今期に比べ4社減少の見通しである。

	あり	投資内容								なし
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯設備	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数）	4	0	0	3	0	0	1	0	0	24
（%）	14.3	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	85.7
今期実施（実数）	6	0	0	5	1	0	0	0	0	22
（%）	21.4	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6
来期計画（実数）	2	0	0	2	0	0	0	0	0	25
（%）	7.4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.6

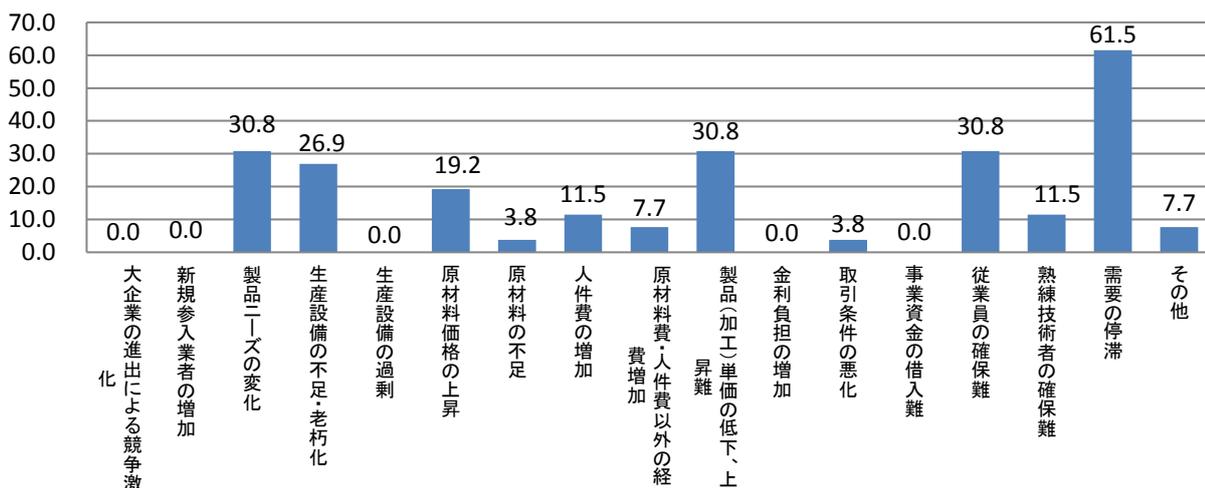
### 製造業 設備投資の状況



## (3) 経営上の問題点（1位～3位の問題点）

今期、多かった問題点は「需要の停滞」（前期 56.0%→今期 61.5%）、「製品ニーズの変化」（前期 32.0%→今期 30.8%）、「従業員の確保難」（前期 32.0%→今期 30.8%）、「製品（加工）単価の低下、上昇難」（前期 20.0%→今期 30.8%）であった。

### 製造業 経営上の問題点

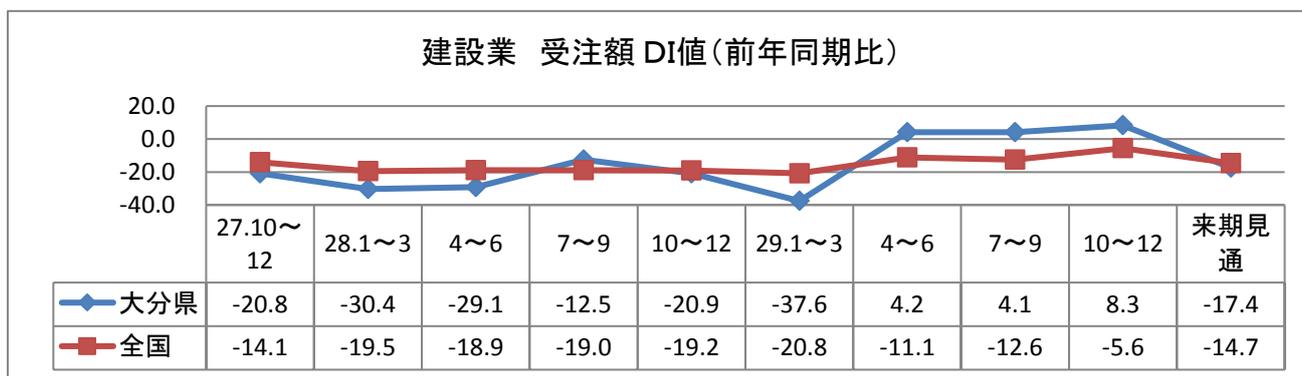


## 2 建設業の動向

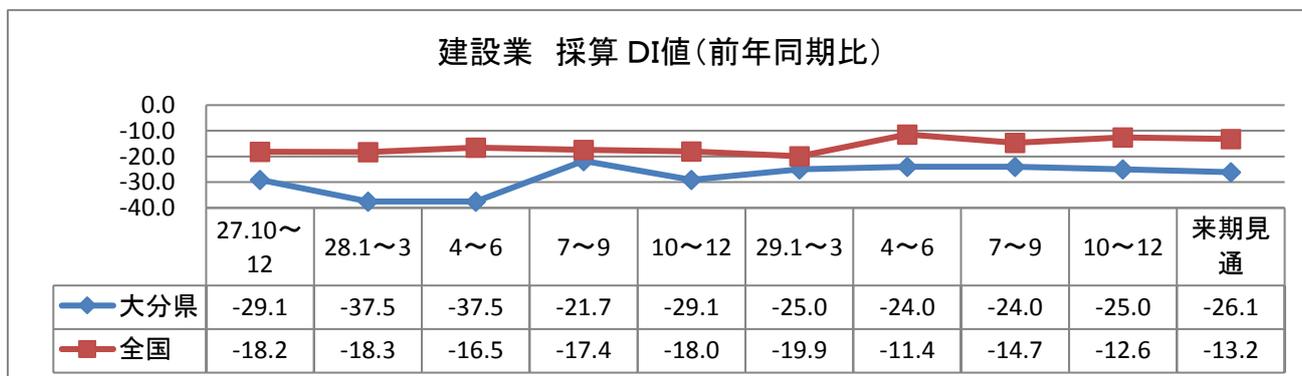
県内の建設業における「受注（新規契約工事）額」については、前回調査に比べ4.2ポイント改善。「資金繰り」についても、12.0ポイント改善した。「採算」については、1.0ポイント悪化した。また、全国平均と比べると「受注（新規契約工事）額」「資金繰り」は、上回る一方で、「採算」については、下回っている。来期の見通しは、「受注（新規契約工事）額」「採算」「資金繰り」の全ての項目で悪化の見込みである。

### （1）全国と比較した主要項目の推移

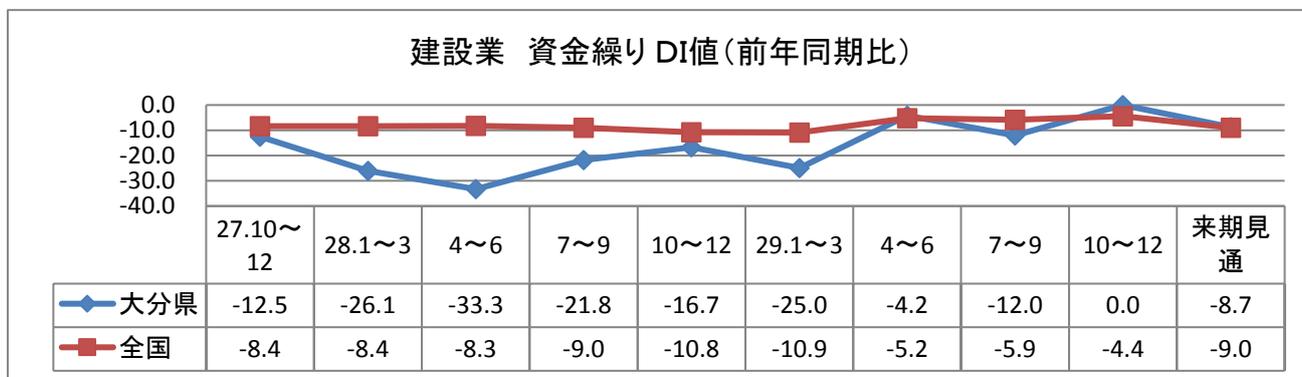
#### ①受注（新規契約工事）額



#### ②採算（経常利益）



#### ③資金繰り

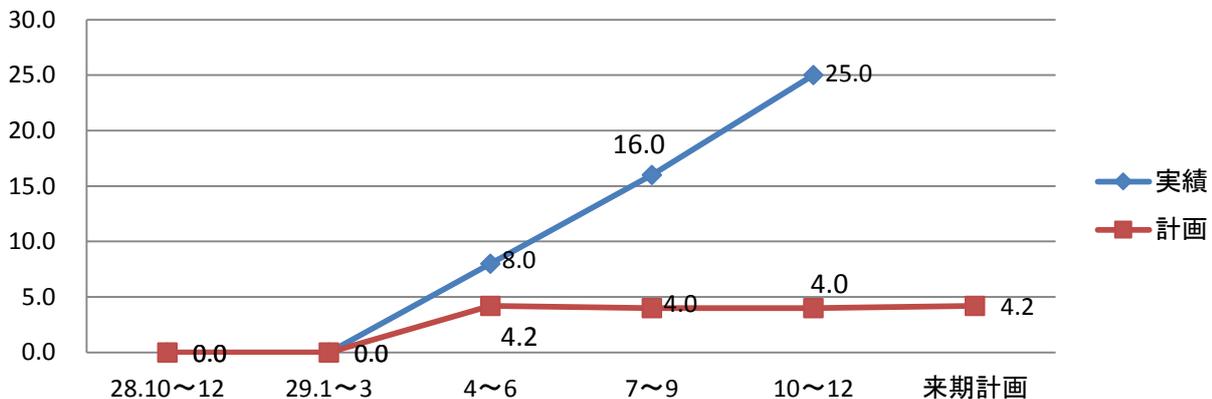


## (2) 設備投資（新規設備投資の状況）

今期、設備投資を実施した企業は6社（25.0%）であった。前期（平成29年7月～9月期）の実施企業が4社（16.0%）のため2社増加。来期は、1社（4.2%）が設備投資を計画しており、今期に比べ5社減少の見通しである。

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯設備	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数）	4	0	1	1	2	0	0	1	0	21
（%）	16.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	84.0
今期実施（実数）	6	0	2	0	3	1	1	0	0	18
（%）	25.0	0.0	33.3	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	75.0
来期計画（実数）	1	0	0	0	0	0	0	0	1	23
（%）	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	95.8

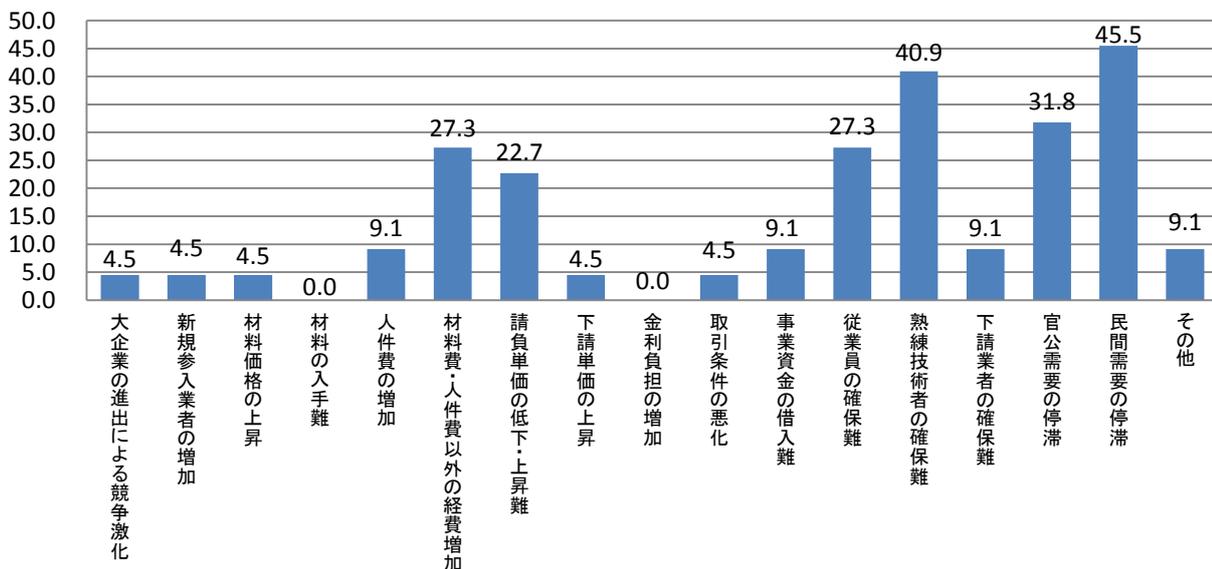
### 建設業 設備投資の状況



## (3) 経営上の問題点（1位～3位の問題点）

今期、多かった問題点は「民間需要の停滞」（前期 54.2%→今期 45.5%）「熟練技術者の確保難」（前期 33.3%→今期 40.9%）、「官公需要の停滞」（41.7%→今期 31.8%）となっている。

### 建設業 経営上の問題点



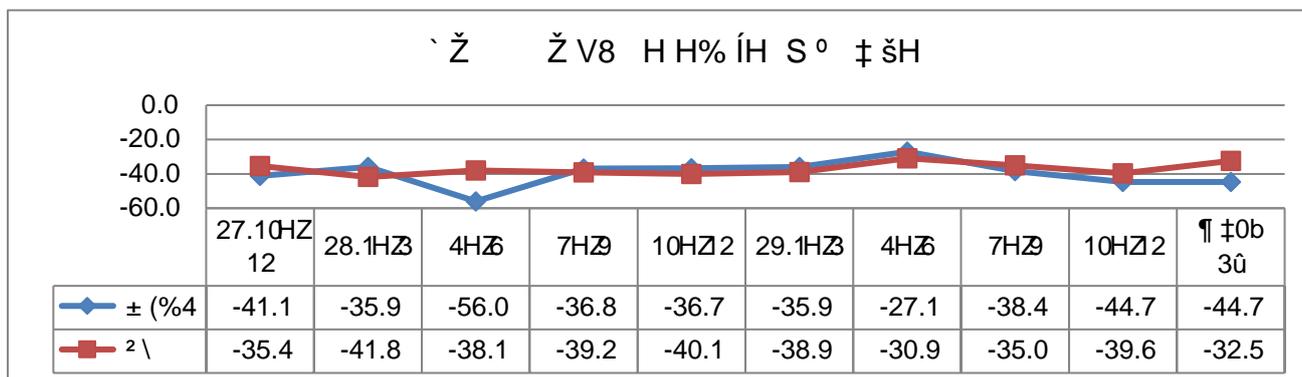
### 3 小売業の動向

県内の小売業における「売上額」については、前回調査に比べ 6.3 ポイント悪化。「採算」についても 9.0 ポイントの悪化、「資金繰り」についても、8.6 ポイントの悪化であった。

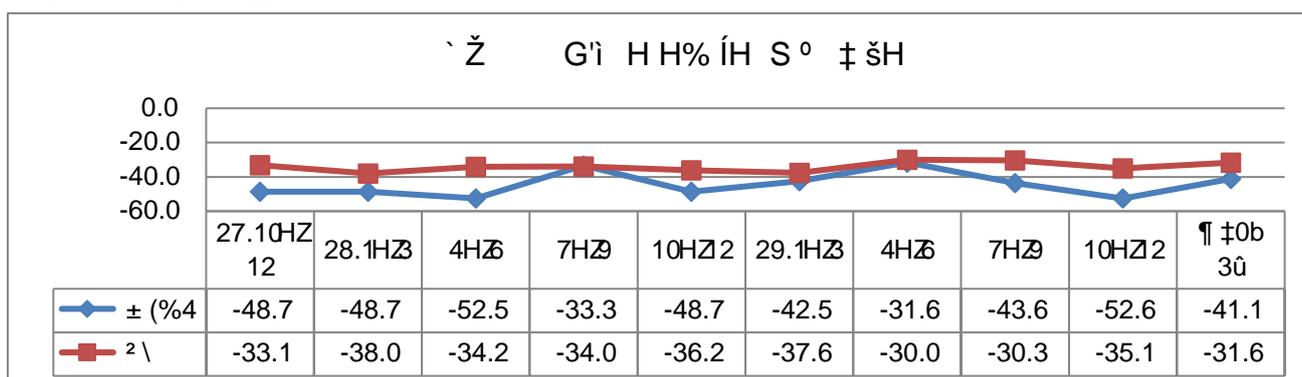
「売上額」「採算」「資金繰り」は全国平均を下回っている。来期の見通しは、「採算」「資金繰り」については、改善の見込みである一方で、「売上額」については、横ばいである。

#### (1) 全国と比較した主要項目の推移

##### ①売上額



##### ②採算（経常利益）



##### ③資金繰り

